

私たちは心で歌う目で歌う合唱団 ニュース NO.1

サントリー第九公演本番 2012年5月6日(日)

本番当日まであと **63日!!** 残り練習回数(当日デネプロ含む) **11回!!**

♪ 次週 3月11日(日)の練習会場も、帝京平成大学 区民集会室 です ♪

サントリーホールでの今回の第九は、あと2ヶ月後に近づいてきました。

300名に近い合唱団の人々は胸ドキドキです。

2月26日には実行委員会がありました。

いずれも、“ヤルゾー”と意気があがっています。

佐藤先生がおいで下さって、午後は褒められた(!?)合唱となりました。

特に第五パートの成長にお褒めをいただきました。

これもあれも、本気な音楽担当の皆様のおかげです。

さて、参加券(入場チケット)は、どんな風かな?!

缶の中に少しずつ貯金がたまっているかな?!

頑張りましょう!

毎回、ニュースを出しますので、皆さんからの一言をおまちしています。 姥山 寛代

※ 2月26日に開催された、第2回実行委員会の模様や、各団体の近況報告は裏面をお読み下さい

① チラシ・ポスターについて

街中に貼ってあるポスターを見て、NPO 事務所を訪ねてくる方がいました。A3判ポスターは残り10枚。チラシは、増し刷りしましたので、十分にあります。必要な方は、どうぞお持ち帰りください。

② 参加券について

販売実数 1055席(2月29日現在) + 合唱P席 + 招待席 + 団体先行予約 = 1531席。

残り 475席。ノルマ分等のご入金はどうぞお早目に!! 発券準備が整い次第、配布しています。サントリーホールの構造上、2階席後方でも、かなり舞台には近い感じがあります。

合唱団員で第1部を鑑賞したい方について、合唱団席のP席をどのように開放するかを今後事務局で検討して、改めてご報告します。《大きく引伸ばした座席表のシール、どうぞご覧下さい。》

③ 缶募金について

開封予定日は、第1回:3月25日(日)/第2回:4月29日(日)。いずれも、合唱練習会終了後を予定しています。近くの商店や会社のデスク!おうちの玄関先に!缶が足りない方は、事務局までご一報下さい。1本の缶コーヒーをサントリーの夢にかえて…。ご協力宜しくお願いします。

気がつけば、3月!! 春の兆しもすぐそのあたりまできている今日この頃。

まだまだ先と思っても、直ぐに5月はやってきます。

2006人の観客動員!簡単なことではありません。

けれど!!満席の会場での舞台・演奏を目指してやりましょう!!



それぞれ「コンサートに来て欲しい人・聴いて欲しい人」にもうひと廻り

「とにかく会場に身体を運んで、参加して!聴いて!」と声をかけることをお願いします。

以前にも伝えましたが…、

振込み(入金)順で良い席を指定して行きます。お早めどうぞ!!

第2回実行委員会が開催されました

去る、2月26日(日)に21世紀の平和のために歌う祈りのコンサートの第2回目の実行委員会が行われました。各団体の代表者が集まり、進行状況やこれから本番までのことを話し合いました。他にも、映像のことやパンフレットの事、参加券の売れ行き状況、本番まであと二ヶ月。みんなの力で前に進もうという思いがっぱいの実行委員会でした。13時半からは、中野のジャックホールで今回も指揮をして下さる佐藤寿一先生が第五パートをご指導してくださって、途中から四声が加わり本番さながらの練習をしました。最後に先生から「本番が楽しみだ。」とお言葉をいただき、残りわずかの練習時間にも気合いを入れて挑もうとみんなが思ったはず。あこがれのサントリーホールの舞台、心を一つにして頑張っていきましょう。

私たちは心で歌う目で歌う合唱団：実行委員 林田美貴子

≪ 実行委員会での各団体からの近況報告 一部抜粋 (報告者) ≫

● 私たちは心で歌う目で歌う合唱団

1月に入り、練習会場を主に池袋に変え、練習をしています。新規の合唱団員も増え、新たな気持ちで始めています。今まで歌ってきた気持ちと頭を切り替えて、1からの音取りや、歌詞の意味合いを考えながら練習しています。募金缶に関しては、常勤職員・利用者・共に働いている方など、ゆきわりそうに関わる方に配って協力してもらっています。また、この時期、感染症予防・1人1人の体調を良くみながらスケジュール調整などをして、5月の本番万全の状態です。臨めるよう努力しています。(南恵三)

● ちょんこめ作業所

毎週1回、音楽ボランティア(若い女性!!)の先生が来て、丁寧に一緒に音取りをしながら練習中。3月末、湯川先生ご夫妻が来ることを楽しみにしています。商店や職員に配る募金缶が足りない、もっとほしい。以前は、絵カードを用いていたが、今回は楽譜を参照して、発音、意味をとる努力をしています。(西尾径子)

作業所の利用者です。ピアノの先生と2人3脚で頑張っています。(中村良一)

● いずみ寮：チームいずみ

コールフォンテとして合唱団を立ち上げ、利用者・スタッフ・ボランティア合わせ16名。月2回、鹿内先生に来てもらい練習しています。ソプラノ・アルトのパートに挑戦。本人達も第九をドイツ語で歌うことにステイタスを感じているようです。利用者の中には、ニューヨークに向けて意欲を燃やしている方もいる。3月から合同練習会に参加できるようにしたい。(清水正雄)

皆さんとうまくやっけていけるように、全員参加でがんばりたい。(佐藤美幸)

● ふれあいサークル 手話隊

大阪から来ました。練習は月2回、土曜の夜に練習しています。今回、舞台に立つのは、7人。全員経験者です。高齢化と年金生活のため、個人個人の負担が大きい。無理のない範囲で参加したい。遠方ということもあり、本番前日から参加します。(道本三枝)

手話隊が培ってきた力は素晴らしいもの。自ら新しい文化を拓いていることに、もっと自信をもって良いと思う。みんな、応援しましょう。(姥山寛代)

● 障害者と共に第九を歌う輝く会

利用者の方は、精神障害の方が多いです。月2回練習し、うち1回は、湯川先生に来てもらっています。4月から最低1回でも合同練習会に参加できるように検討したい。(森道子)

● 希望の虹(欠席)

※ 午後の合唱練習会には4名で参加されました